

2024年4月1日～2025年3月31日の間に 当科において培養検査を受けられた方及びご家族の方へ

「腎臓尿路系疾患における尿沈渣法と無遠心法との有用性に関する検討」 へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 検査診断学(病態解析) 教授 北中明
研究分担者 川崎医科大学 検査診断学(病態解析) 准教授 今滝修

1. 研究の概要

腎臓や尿管や膀胱などの尿路系の病気の診断には、尿検査が欠かせません。尿検査には主に尿中の成分を機械分析で行う定性検査と、尿の固形成分を顕微鏡で観察確認する沈渣検査があり、沈渣検査においても、機械分析による方法(フローサイトメーターを用いた方法)があり、検査の時間や労力が大幅に低下しつつあります。

しかし尿路系の病気において機械分析の検査をどのように活用できるかは、疑う病気によってまだ検討の余地がありそうです。そこで、これまでの尿検査結果を用いて、従来の方法に比較して、機械分析による結果が十分有用かについて調査致します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年04月01日～2025年03月31日の間に川崎医科大学総合医療センターにおいて尿検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において尿検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに検査結果を確認し、診断や治療、および検査結果の内容を精査し、その結果を解析します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、原疾患、合併症、治療内容、転帰、尿検査結果、尿培養結果、あれば病理学的検査結果(細胞診および組織診)、画像検査結果。

5) 外部への情報の提供

該当しません。

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学検査診断学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 総合医療センター 中央検査部

氏名：今滝 修

電話：086-225-2111 内線 48057（平日：9時00分～16時00分）

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。